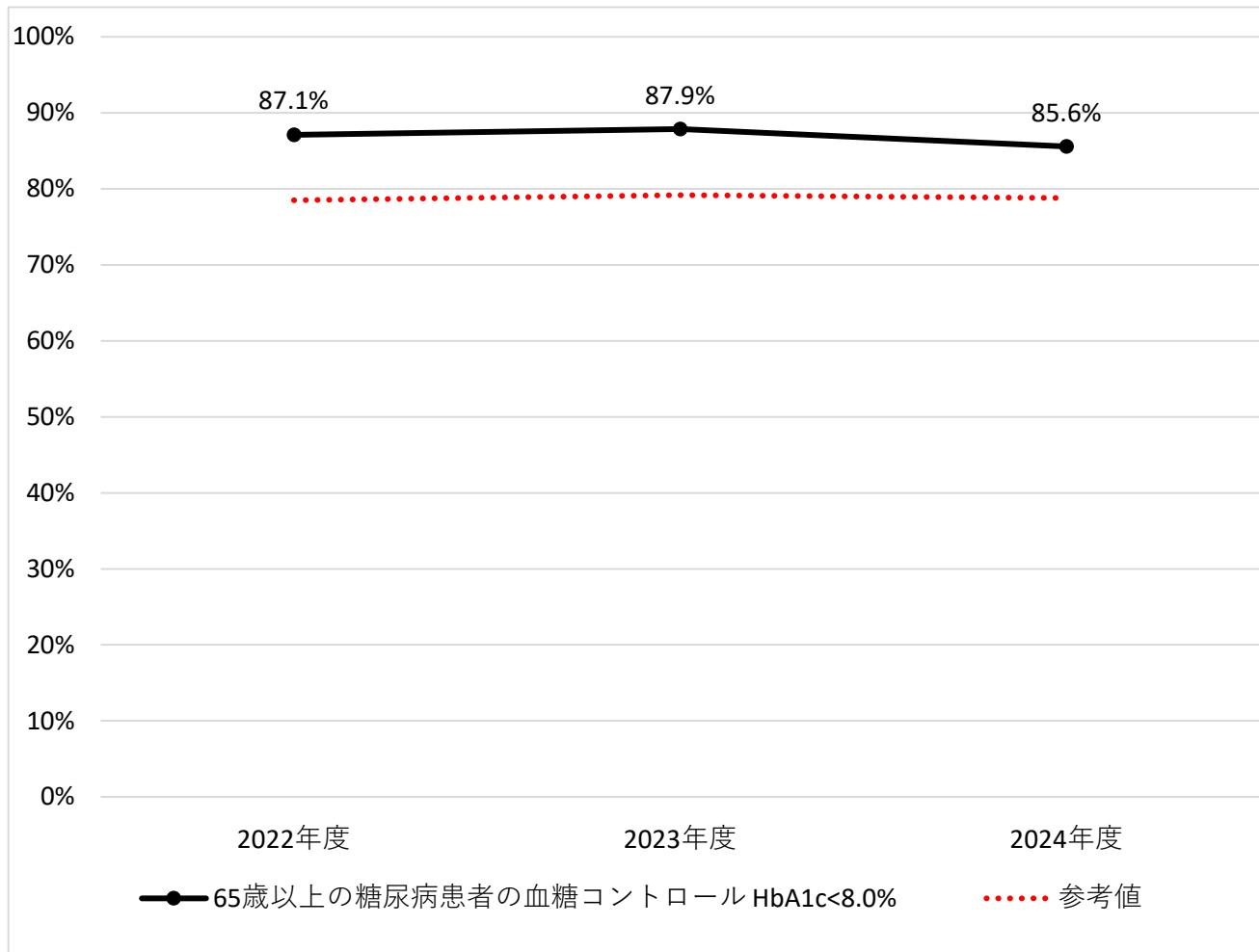


65歳以上の糖尿病患者の血糖コントロール HbA1c<8.0%



分子	HbA1c(NGSP)の最終値が8.0%未満の65歳以上の外来患者数
分母	糖尿病の薬物治療を施行されている65歳以上の外来患者数（過去1年間に糖尿病治療薬が外来で合計90日以上処方されている65歳以上の患者）
参考値	QIプロジェクト参加施設の平均値
説明	<p>[指標の意義]</p> <p>高齢者では、低血糖のリスクが高く、過度な血糖コントロールは転倒・意識障害・認知症進行などを引き起こす危険があります。</p> <p>そのため、**HbA1c<8.0%**は「無理のない、安全なコントロール目標」として推奨されており、日常生活動作（ADL）良好な高齢者であっても、多剤服用・認知機能低下・腎機能低下があれば、7.0%未満よりも8.0%未満を目標にすべきとされます。</p> <p>[結果]</p> <p>どの年度も参考値を上回っており、安定した血糖コントロールを維持していることが示唆されます。合併症予防と低血糖リスク回避のバランスを考慮した、高齢者向けの治療方針が浸透している結果と考えられます。</p>